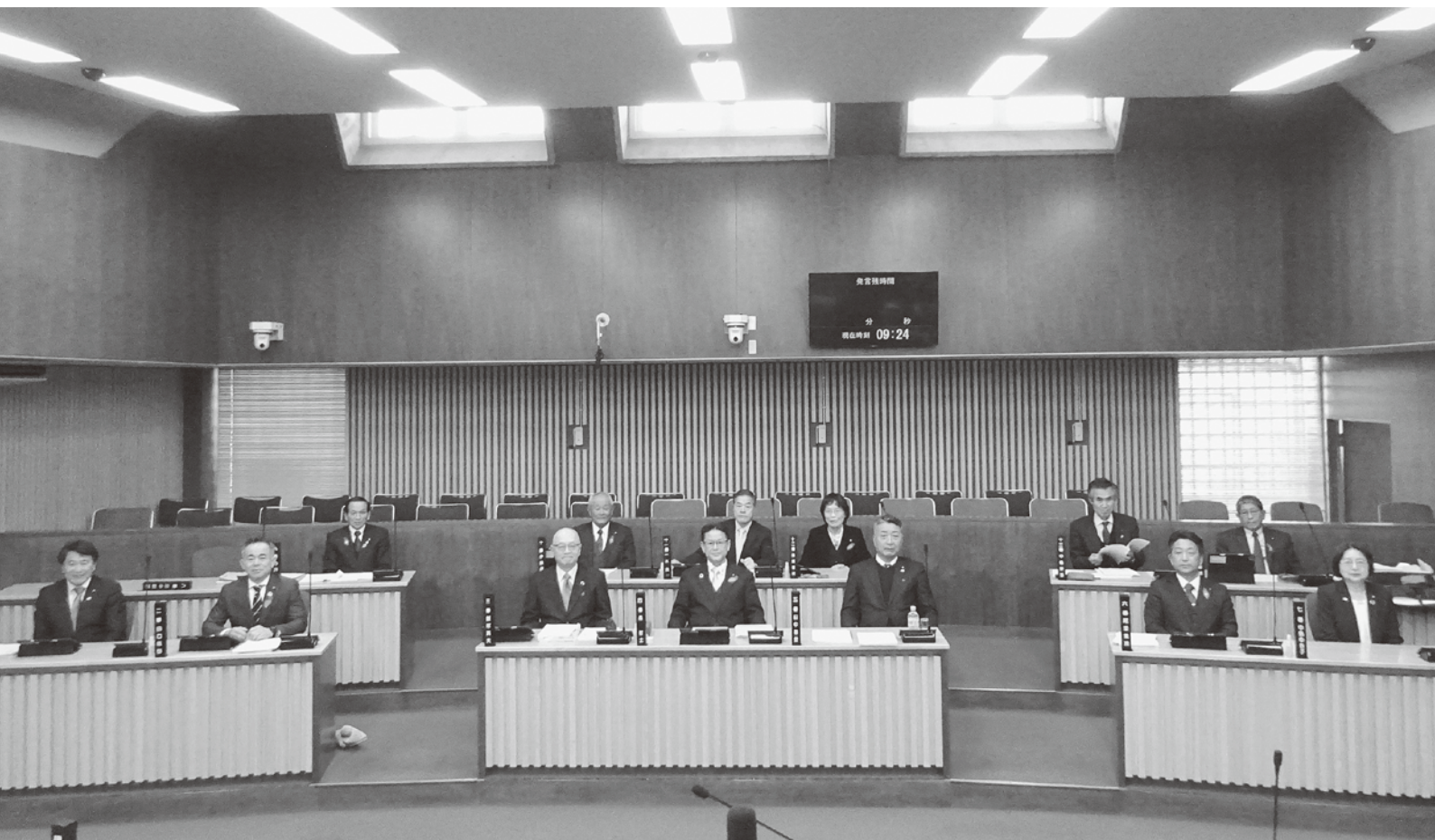




# 下呂市 議会だより

GERO CITY  
assembly

80  
令和6年5月1日



## 【令和6年 第2回 下呂市議会（3月定例会）】

令和2年4月の当選から任期4年の最後となる3月定例会を開催しました。（議案等の審議内容はP2～）  
任期当初から、新型コロナウイルス感染症対策としてマスク着用や飛沫防止対策、傍聴者の制限等、さまざまな環境変化の中、数多くのコロナ関連施策について慎重に審議を行ってきました。  
現在は制限のない議会に戻っていますが、この経験が無駄にせず、今後も公正で公平な議会運営を進めていきます。  
4年間ありがとうございました。

CONTENTS

●2月臨時会の報告(審議結果)・3月定例会の報告(審議結果) (P 2～P 5)

●予算特別委員会、常任委員会報告(審査結果、委員会報告) (P 6～P 8)

●一般質問(会派代表質問、個人質問) (P 9～P13)

●議会基本条例達成状況の検証結果、6月定例会日程 (P14)

## 2月臨時会の報告

2月7日、令和6年第1回下呂市議会臨時会を開催し、不在となっていた議長の選出に係る議長選挙、副議長選挙を行い、議長に中島ゆき子議員、副議長に今井政良議員が選出されました。

また、条例改正1件、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業および新子育て支援施設建築工事の年度繰越に係る一般会計補正予算について可決しました。

### 上程議案と審議結果

★各上程議案の詳細は、下呂市ホームページをご覧ください。  
(右のQRコードを読み取るとホームページが閲覧できます)



#### ○全会一致で可決した議案【市長提出議案】

議案名	付託委員会	審議結果
令和5年度下呂市一般会計補正予算(第11号)	—	可決 (全会一致)

#### ○賛否が分かれた議案【市長提出議案】

○…賛成 ×…反対

議案名	議員名														付託委員会	審議結果
	鷺見昌己	田口琢弥	飯塚英夫	森哲士	田中喜登	尾里集務	中島ゆき子	今井政良	伊藤嚴悟	一木良一	吾郷孝枝	中島新吾	中島達也			
下呂市手数料条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	×	×	○	—	可決 (賛成多数)	

★QRコードから2月臨時会の議案の提案説明から採決までの映像を動画共有サービス「YouTube」にて視聴できます。

議案審議の詳細  
令和6年2月7日  
(臨時会)



## 3月定例会の報告

2月22日から3月22日までの30日間において、令和6年第2回下呂市議会定例会を開催しました。

初日には、人権擁護委員候補者の推薦に係る諮問、下呂市教育委員会委員の任命および下呂市監査委員の選任に係る同意、条例改廃、コロナ・原油高・物価高対策等に係る補正予算(一般会計・7特別会計・4公営企業会計)などについて可決しました。

また、最終日には、指定管理者の指定、条例改正、令和5年度の一般会計および下呂温泉合掌村事業会計補正予算、令和6年度の一般会計、特別会計および公営企業会計当初予算などについて可決しました。

### 上程議案と審議結果

★各上程議案の詳細は、下呂市ホームページをご覧ください。  
(右のQRコードを読み取るとホームページが閲覧できます)



#### ○全会一致で可決した議案【市長提出議案】

議案名	付託委員会	審議結果
人権擁護委員候補者の推薦について【推薦者3名】	—	適任(全会一致)
下呂市教育委員会委員の任命について【任命者2名】	—	同意 (全会一致)
下呂市監査委員の選任について【選任者2名】		

## ○全会一致で可決した議案【市長提出議案】

議 案 名	付託委員会	審議結果
森8号線道路改良（2-2）工事請負契約の変更契約の締結について	—	可 決 (全会一致)
新子育て支援施設建設（建築）工事請負契約の変更契約の締結について		
下呂市複合型子ども・子育て支援拠点施設の指定管理者の指定期間の変更について		
下呂市複合型子ども・子育て支援拠点施設設置条例の一部を改正する条例について		
下呂市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例について		
下呂市基金条例の一部を改正する条例について		
下呂市医師確保奨学資金条例を廃止する条例について		
令和5年度下呂市下呂温泉合掌村事業会計への繰出について		
令和5年度下呂市一般会計補正予算（第12号）		
令和5年度下呂市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）補正予算（第4号）		
令和5年度下呂市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）		
令和5年度下呂市介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）補正予算（第3号）		
令和5年度下呂市介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第4号）		
令和5年度下呂市国民健康保険事業特別会計（診療施設勘定）補正予算（第4号）		
令和5年度下呂市下呂財産区特別会計補正予算（第2号）		
令和5年度下呂市学校給食費特別会計補正予算（第4号）		
令和5年度下呂市水道事業会計補正予算（第6号）		
令和5年度下呂市下水道事業会計補正予算（第4号）		
令和5年度下呂市下呂温泉合掌村事業会計補正予算（第5号）		
令和5年度下呂市立金山病院事業会計補正予算（第4号）	総務	可 決 (全会一致)
証明書の交付等に関する事務の委託の廃止について		
下呂市第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例及び下呂市第2号会計年度任用職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について		
下呂市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について		
下呂市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について		
下呂市市営住宅条例の一部を改正する条例について		
下呂市ゆったり館条例の一部を改正する条例について		
下呂市立休日診療所設置条例の一部を改正する条例について		
下呂市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について		
下呂市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について		
下呂市消防関係手数料条例の一部を改正する条例について		



## ○全会一致で可決した議案【市長提出議案】

議案名	付託委員会	審議結果
市道の路線変更について	産経	可決 (全会一致)
地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について		
下呂市道路占用料条例の一部を改正する条例について		
下呂市水道事業給水条例等の一部を改正する条例について		
下呂市農業集落排水処理施設等の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について		
令和6年度下呂市水道事業会計への繰出について		
令和6年度下呂市下水道事業会計への繰出について		
令和6年度下呂市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）予算	予算	
令和6年度下呂市介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）予算		
令和6年度下呂市国民健康保険事業特別会計（診療施設勘定）予算		
令和6年度下呂市下呂財産区特別会計予算		
令和6年度下呂市学校給食費特別会計予算		
令和6年度下呂市下呂温泉合掌村事業会計予算		
令和6年度下呂市立金山病院事業会計予算		
下呂市飛騨小坂ふれあいの森の指定管理者の指定について	—	
令和5年度下呂市一般会計補正予算（第13号）		
令和5年度下呂市下呂温泉合掌村事業会計補正予算（第6号）		

## ○賛否が分かれた議案【市長提出議案】

○…賛成 ×…反対

議案名	議員名											付託委員会	審議結果		
	鷺見昌己	田口琢弥	飯塚英夫	森哲士	田中喜登	尾里集務	中島ゆき子	今井政良	伊藤嚴悟	一木良一	吾郷孝枝			中島新吾	中島達也
令和6年度下呂市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	×	×	○	予算	可決 (賛成多数)
令和6年度下呂市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	○		
令和6年度下呂市介護保険特別会計(保険事業勘定)予算	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	○		
令和6年度下呂市水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	○		
令和6年度下呂市下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	○		
下呂市介護保険条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	○	—	
下呂市介護保険法に基づく指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に係る基準に関する条例等の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	○		

## ○全会一致で可決した議案【議会委員会提出議案】

議案名	付託委員会	審議結果
下呂市議会委員会条例の一部を改正する条例について	—	可決 (全会一致)
下呂市議会基本条例の一部を改正する条例について		

## 3月定例会の議案審議の詳細

## 議第10号 【全会一致で可決】

令和5年度下呂市下呂温泉合掌村事業会計への繰出について

(市長提出議案:委員会付託なし)

- 繰出額 9,777 千円
- ふるさと納税の仕組みを活用し実施した、下呂温泉合掌村のガバメントクラウドファンディングにおいて、頂いた寄附金額から必要経費を差し引いた額を基準外繰出するもの



下呂温泉合掌村

## 議第28号 【全会一致で可決】

下呂市市営住宅条例の一部を改正する条例について

(市長提出議案:総務教育民生常任委員会審査付託)

- 老朽化した市営住宅を用途廃止するため改正するもの
- 条例別表中の「御滝団地」(金山町金山)に関する記載を削除する



御滝団地

## 議第29号 【全会一致で可決】

下呂市ゆったり館条例の一部を改正する条例について

(市長提出議案:総務教育民生常任委員会審査付託)

- 休止している当該施設を有効活用するため改正するもの
- 施設管理を指定管理者から直営とし、施設の設置目的を日帰り温泉施設からレクリエーションや会議等を行う貸館施設に改める
- 基本使用料の額について定める



ゆったり館

## 議第35号 【全会一致で可決】

下呂市農業集落排水処理施設等の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

(市長提出議案:産業経済常任委員会審査付託)

- 下水道事業会計の経営改善のため、不採算となっている小規模処理区を集合処理施設から個別処理施設(合併処理浄化槽)へ事業転換することに伴い、改正するもの
- 条例別表中の「和田地区小規模集合排水処理施設」(萩原町尾崎)に関する記載を削除する



和田地区小規模排水処理施設

★QRコードから3月定例会の議案の提案説明から採決までの映像を動画共有サービス「YouTube」にて視聴できます。

議案審議の詳細  
令和6年2月22日  
(定例会初日)



議案審議の詳細  
令和6年3月22日  
(定例会最終日)



## 令和6年度下呂市当初予算(一般会計では合併以降4番目の規模)

### ◆一般会計

《福祉や教育、まちづくりなど幅広い住民サービス》

**234億3,000万円** (対前年度比 2.4%増)

### ◆特別会計

《国民健康保険、介護保険など特定の事業7会計》

**81億1,263万円** (対前年度比 2.5%減)

### ◆企業会計

《上・下水道、下呂温泉合掌村、金山病院事業会計》

**72億896万3千円** (対前年度比 5.2%増)

**総額 387億5,159万3千円** (対前年度比 1.8%増)

## 予算特別委員会

3月14日、15日、18日、19日の4日間、委員会を開催し、一般会計、7特別会計、4公営企業会計の令和6年度当初予算について審査し、全て可決すべきものと決しました。

なお、一般会計では、人口減少対策としての子育て支援、雇用の創出、高齢者福祉に係る各種施策や、し尿処理施設改修工事をはじめとする公共施設設備整備、災害対策などを含め、合併後過去4番目の規模となりました。主な審査内容は次のとおりです。

### 《職員研修について》

※職員の職務遂行能力等を高めるため、階級別研修や専門研修、ハラスメント研修等を実施。

**Q** これからの厳しい時代を担う人材を育成するため、市内事業所と連携し、企業の厳しさを学ぶ研修も有効と考えるがいかがか。

**A** 職員には、スキルアップのため、さまざまな研修への受講を勧められています。市内事業者等への若手職員の派遣もしっかりと検討し、事業者さまの協力を得ながら進めていきたいと考えます。

### 《能登半島地震を踏まえた災害対策について》

※防災倉庫の追加設置、だるまストープ・スポットクーラー・仮設

トイレなどの備蓄を増強。

**Q** 能登半島地震では避難所生活が長期化し、さまざまな課題が明らかになった。女性・乳幼児・高齢者・障がい者等に配慮した備蓄の確保により、避難所の機能強化が必要ではないか。

**A** 指定避難所への備蓄は、しっかりと進めていきます。その上で、個人での備蓄も重要であることから、啓発等を行っていききたいと考えます。

### 《防災アプリによる防災情報伝達について》

※防災行政無線デジタル化に合わせ、携帯電話へも情報伝達ができる防災アプリのシステムを構築。

**Q** 防災アプリによる防災情報の伝達の詳細は。

**A** 災害時に緊急情報を市から発信した場合、携帯電話がマナーモードであっても最大音量で通知音が鳴り、豪雨時でも確実に情報が伝達できるものです。各種行政情報も発信できる機能も備えていますので、将来的には広報げるやごみ収集日の周知など利便性の高いものにしていきたいと考えます。

### 《デマンドバス運行事業について》

※小坂、馬瀬、下呂および金山の区域でデマンドバスを運行。

**Q** バス運行については、運転手不足が問題化しているが、今後の方向は。

**A** 運転手不足によるバス運行の

維持が難しい中、デマンド馬瀬は、令和6年度より、乗車定員9人のジャンボタクシーによる運行に切り換えます。タクシー車両を使うことで、自宅近くで乗車して目的地まで直行する、高齢化社会に対応した運行形態が可能となります。ただし、タクシーによる運行も、運転手不足には変わりなく、その対策は、新たな地域公共交通計画策定の中で検討します。

### 《国民文化祭(清流の国ぎふ文化祭)事業について》

※国民文化祭として文化交流事業および地域文化発信事業を実施。また、南飛騨健康増進センター周辺においてアートによる地域活性化事業(南飛騨アートプロジェクト)を県と共に実行委員会を立ち上げ開催。

**Q** アートプロジェクトを大成功に導き、それが継続され、南飛騨健康増進センターに定着させていくことが重要であると考えるがいかがか。

**A** アートプロジェクトを成功させて、今後にもつづけていかなければならないという覚悟で、県と連携しながら取り組んでいきます。

### 《移住定住促進事業について》

※移住定住推進のための各種助成を実施。Uターン促進を図るための「Uターンおかえり奨励金制度」を新設。

**Q** 「Uターンおかえり奨励金」



は、保育や介護の専門職に就いた場合の奨励金との併給は可能か。

**A** 対象となる要件を満たしていれば、おかえり奨励金に加え、就業奨励金や保育士就職奨励金、介護等専門職員就職奨励金、また林業新規就業支援事業補助金等が受けられます。

**Q** 移住定住促進のための助成制度は、メニューも多く充実している。それをいかに広く周知、PRしていくかが重要なポイントであるが、その考えは。

**A** Uターンによる移住促進に力を入れたいと考えます。そうした中、市民の皆さまが下呂市のいいところ、地元事業所の素晴らしいところをSNSで発信するなど、市全体でUターンを呼び掛ける運動を展開したいと考えています。

### 《クアオルト健康ウォーキング事業について》

※市民の健康寿命の延伸を目指し、クアオルト健康ウォーキング（ドイツで治療として利用されている「気候性地形療法」を日本の環境に適合させた健康づくり）を推進。

**Q** このウォーキングを健康づくりにどのようにつなげていくのか。

**A** 日本クアオルト研究所が認定したコースにおいて、養成された市民専門ガイドが参加者に同行し、より運動効果を高める歩き方を指導します。実施方法のひとつとして、1コース当たり月2回程

度、参加者を募り行う定例型ウォーキングを計画しています。

### 《地域医療デジタル連携推進事業について》

※医師不足が深刻化する中で効果的な医療提供の確立を目指し、デジタル技術を活用した「遠隔診療システム」を整備。

**Q** 具体的にどのようなシステムを構築しようとしているのか。

**A** 医師が遠隔地にいながら診療することができるシステムで、患者側には看護師を配置し、離れた所にいる医師の診療をサポートします。

### 《結婚支援事業について》

※結婚相談所の運営、出会いイベントの開催、結婚支援活動を自主的に行う市民団体に補助金を交付。

**Q** 結婚支援活動を行う市民団体への補助金を拡充するのとこの効果的な施策に転換していく考えはないか。

**A** なかなか成婚に結びつかないかもしれないですが、人口減少対策として、結婚という課題に主体的に取り組みとする市民団体の皆さまのお気持ちを大切にするためにも、この補助制度は続けていく考えです。

### 《出産祝金支給事業について》

※令和5年度から実施している第2子以降の出産祝金（県事業10万円）に加え、令和6年度から第1子以降を対象とする出産祝金制度

（市単独事業10〜50万円）を新設。

**Q** 市単独での制度については、大変素晴らしいものと考えますが、せっかくこういう制度を創るのなら、例えば第5子の場合の祝金を増大させるなど、もう少しインパクトがあってもよいと考えるがいかがか。

**A** この出産祝金制度は、下呂市の少子化対策と子育て支援のPR効果もねらい新設したものです。さらにPR効果を上げていくため、令和6年度の実績も踏まえながら、拡充等もしっかり行っています。

### 《谷沿木処理事業について》

※谷沿いに放置された風倒木の撤去に対する補助を行い、土石流発生等災害を防止。

**Q** これまでのこの事業推進により、市内の危険な箇所は解消はできたのか。

**A** 危険箇所については、地区からの要望を集約しながら対応していますが、未だ処理が必要な箇所も残っていますので、今後も継続して取り組みます。なお、令和2年豪雨災害における被災箇所については、ある程度処理ができたものと考えます。

### 《観光客誘致対策事業について》

※各観光協会、下呂温泉旅館協同組合、商工会等による官民一体となった誘客活動を展開。新規事業として、外国人旅行者（インバウンド）誘致等を実施。

**Q** インバウンド誘致対策に係る新規予算は、具体的にどのような考え方で計上されたのか。

**A** コロナ禍が明け、海外からの旅行需要が非常に伸びている中、下呂温泉旅館協同組合、（一社）下呂温泉観光協会、下呂市によるインバウンド誘致対策プロジェクトチームを立ち上げ、今後のインバウンド誘致について協議をしました。それに基づき、市長によるトップセールス、商談会、ウェブプロモーションをはじめとした市内へのインバウンド誘致を継続的に取り組むものです。

### 《小坂介護医療院・小坂老人保健施設整備事業について》

※両施設の入所者管理システムの更新、および介護ロボットを導入。

**Q** 介護ロボットはどのような役割を果たすのか。

**A** 移乗介助をサポートするロボットになります。車椅子等への移乗の際は、職員2人体制で介助を行っていましたが、このロボットを操作することで、職員1人で安全、安心な介助ができることとなります。

委員会付託案件の審査内容を動画共有サービスYou Tubeにて視聴できます。



## 総務教育民生 常任委員会

3月12日、定例会初日に付託された10議案について審査した結果、全て可決すべきものと決しました。主な審査内容は次のとおりです。

《下呂市市営住宅条例の一部を改正する条例について》(金山町金山の御滝団地について、老朽化により用途廃止するもの)

**Q** 市内の他の市営住宅についても、老朽化が見込まれる中で、廃止するのか、改修して存続するのか、どのように考えているか。

**A** 老朽化した市営住宅のうち、危険な状態となっていたり、耐震性が確認されていない住宅については、政策空き家に指定した上で、順次取り壊しを行うなど、市営住宅の適正管理に努めていきます。

《下呂市ゆったり館条例の一部を改正する条例について》(現在休止しているゆったり館を有効活用するため、施設の設置目的を日帰り温泉施設から貸館施設に改めるもの)

**Q** 貸館施設として市民に開放することは良いことだと思うが、今後事業者等から指定管理施設として運営したいとの申し入れがあった場合の対応は、どのように考えているか。

**A** 過去には指定管理施設として、複数の事業者者に打診を行ったが、必要な初期費用が高額となり、費用対効果が見込めないとの理由で不調に終わった経緯があります。何の利用もしないとなれば、まずまず老朽化が進むので、貸館施設として開放しながら、維持管理に努めていきますが、指定管理について事業者から話ががあれば、前向きに検討したいと考えます。

《証明書の交付等に関する事務の委託の廃止について》(戸籍証明書等の広域交付制度の開始に伴い、全国の市区町村で交付が可能となり、飛騨3市1村間での事務の委託が不要となったことによるもの)

**Q** 今回始まった広域交付制度において、マイナンバーカードが利用できるのか。

**A** 市区町村窓口での対応となるため、コンビニ交付のような利用はできません。市区町村窓口では、身分証明書としてご利用いただくことができます。

委員会付託案件の審査内容を動画共有サービスYou Tubeにて視聴できます。



## 産業経済 常任委員会

3月13日、定例会初日に付託された7議案について審査した結果、全て可決すべきものと決しました。主な審査内容は次のとおりです。

《下呂市農業集落排水処理施設等の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について》(下水道事業会計の経営改善のため、不採算となつている小規模処理区を集合処理施設から個別処理施設へ事業転換することに伴い改正を行うもの)

**Q** 合併処理浄化槽への転換事業が完了した和田地区(萩原町尾崎)における転換前の処理施設とその跡地はどのようにするのか。また、浄化槽の清掃等に係る進入路の確保についてはどのように考えているか。

**A** 筋骨内の管路等は、現在も合併処理浄化槽の放流水を流すために使用しているところがあります。旧処理施設については、取り壊してさら地にしています。土地購入等の要望にはしっかりと対応して進めていきます。進入路等の確保は、振興事務所等と相談をしながら確保できるように進めていきたいと考えます。

能登半島地震の被災地での下水道復旧の遅れなどの具体的な事実

にも目を向けて、単に不採算という理由だけではなく、いろいろなことを総合的に判断して合併処理浄化槽への転換を検討・協議していきたいと考えます。丁寧に説明しながら、住民の皆さまの合意を得て進めていきます。

《令和6年度下呂市下水道事業会計への繰出について》(料金収入等全ての収入を充てても不足する下水道施設の維持管理等に必要な経費を一般会計から繰出するもの)

**Q** 下水道事業の料金収入の全てを充てても不足するということが、未加入の割合はどの程度か。

**A** 下水道区域における接続率は、令和5年4月1日時点で85%となっています。

**Q** 接続率が低いところには、どのような対応をされているか。

**A** 令和5年に加入されていない全てのご家庭に対して、「下水道への接続をお願いします」という内容の文書で案内をさせていただきました。経済的な理由もあって、結果はすぐには出ていませんが、継続して呼び掛けをしていきます。

委員会付託案件の審査内容を動画共有サービスYou Tubeにて視聴できます。





議員名下のQRコードから代表質問の映像を動画共有サービス「YouTube」にて視聴できます。



5 番  
田中喜登 議員



## 市内中小企業・小規模企業に対する支援の現状と課題について

①各種支援制度の活用状況を踏まえ、もっと使い勝手のよい制度となるよう、見直していく考えは。

### ◆観光商工部長

コロナ禍からの回復と持続的な経営の後押しとなるよう、また国の補助制度を補完する支援制度として、本年度創設した「展示会等出展支援事業」と、「広告宣伝等支援事業」を統合し、さらに補助事業費と補助対象者を拡大した新たな支援制度を、令和6年度当初予算に計上している。

②労働力確保に向け、支援制度を拡充する考えは。

### ◆観光商工部長

正規雇用者として市内事業所に初めて就労する方に、居住地が市内市外に関わらず支援金を交付する制度を令和6年度に新設することとしている。併せて益田清風高校の新卒者で、市内事業所に初めて就労する方には、奨励金を交付する事業も新設する。

③市内中小企業・小規模企業振興

の発展の基盤となる「下呂市中小企業・小規模企業振興条例」制定に向けた市の考えは。

### ◆観光商工部長

条例制定に当たっては、関係者が問題意識を持ち、それぞれの果たす役割の重要性について認識を共有することが重要であると考えられる。商工会とも十分連携を図りながら、令和6年中の条例の制定に向けて取り組んでいく。

## 電子ポイント給付事業の普及状況と課題、今後の展開について

①デジタル通知、電子ポイント給付、子育て世帯支援電子ポイント等給付の現在までの普及状況は。

### ◆まちづくり推進部長

2月末現在、x10D（デジタル通知）アプリ登録済者数は、人口2万9426人のうち8117人、登録率は27・6%、その内5000ポイントの給付通知済者のポイント受取り割合は96・9%で、他市と比較し、登録率は非常に高い状況となっている。

子育て世帯支援電子ポイント給付の状況は、2月末現在、対象世帯2081世帯に対し、給付世帯1909世帯、給付率91・7%で、うちx10Dアプリを通じて申請があった登録者は全申請者の88・5%となっている。

②使用できる店舗数が少ないと電子ポイントの魅力が半減すると思

われるが、加盟店舗を増やすため、どのような方策をとられたか。

### ◆まちづくり推進部長

各商工会に対して説明・協力依頼を行い、商工会発行のお知らせや会合での加入促進にご協力をいただいた。その後は、取扱金融機関が、各地域において説明会を開催すると共に、商工会加盟事業者を中心に個別訪問し、制度の説明と加入について理解をいただけるよう努めてきた。

③消費の囲い込み等、電子ポイントは地域経済活性化に非常に有効と考えるが、今後の活用計画は。

### ◆まちづくり推進部長

導入した電子ポイント基盤は、現金化できる電子ポイントを給付できるといふ強みがあり、さまざまな給付事業において活用できるものと考えている。

また、商工会や各種団体と連携して、プレミアム商品券や購入額に対するポイント還元キャンペーン、健康活動における電子ポイント付与など、今後も地域通貨として下呂デジタルポイントが認知される取り組みを検討していく。

## 政策研究会泉および有志で提出した令和6年度予算編成に向けた提言に対する対応について

①育英資金の対象要件および支給額の拡充について、令和6年度予算にどのよう反映されたのか。

◆教育委員会事務局長  
令和6年度予算には、反映していない。

令和5年度に実施したニーズ把握に関するアンケート結果を踏まえると現状の育英資金制度は社会的ニーズに十分な対応ができておらず、抜本的な見直しが必要と考えている。貸付額の増額、返済期間の見直し等、抜本的な制度改革に向け全庁的に取り組んでいる。

新たな制度については、令和7年4月から実施できるよう進めている。

②「訪問型介護サービスD」の事業化について、令和6年度予算にどう反映されたのか。

### ◆福祉部長

「通院・買い物等における送迎前後の付き添い支援」に対して補助金を支出する仕組みを構築し、介護保険特別会計における介護予防・生活支援サービス事業費の中で予算計上している。

さつき 泉

政策研究会

田中喜登  
鷲見昌己  
森哲士

# 一般質問 8人が市政を問う

各議員名下のQRコードから一般質問の映像を動画共有サービス「YouTube」にて視聴できます。



9番 今井政良 議員



## 能登半島地震を踏まえた災害時の対応策について

①災害時における他の自治体、業界団体等および病院・医師会・歯科医師会との連携について

### ◆総務部長

個別の相互応援協定を現在4自治体と結んでおり、さらに同時被災しない自治体との協定を進めていきたい。市長施政方針のとおり災害発生当初はオール下呂でしるべき、すぐに外部から応援が入っていただけるよう関係団体等との協定締結も進めていく。

### ◆市民保健部長

医師会、歯科医師会等とはそれぞれに協定を結び、活動内容等を取り決め、連携して救助活動に取り組んでいくこととしている。

### ◆災害時における非常食および日用品等の備蓄について

### ◆総務部長

基本は「自分に必要なものは自分で準備する」という考えの元、やむを得ない事情がある方に対する備蓄を行っている。防災備蓄倉庫2基分を含む防災対策費を令和6年度予算に計上している。

## ③上下水道施設の安全性と災害復旧体制について

### ◆上下水道部長

耐震性のある建屋は約4割であり、今後、料金改定などにより財源を確保しつつ施設や重要管路の耐震化を進めていく。大規模または広範囲で被災した場合は、日本水道協会などを通じて応援要請をすることになる。

## ④災害発生後の学校教育体制について

### ◆教育長

児童生徒の安否と心身の状況についての確認とケア、児童生徒の学習環境に係る被害状況の確認とサポートを大切に、子どもたちの学びを保障していきたいと考えている。

## ◆小中学校の教育費無償化について今後の教材費、給食費等の無償化の方針について

### ◆教育委員会事務局長

教材費については、令和5年度からの公会計化により、保護者負担となる振込手数料の軽減を図っており、現状はこの取り組みを最善策と捉え、無償化する考えはない。給食費は、値上げを行わず、保護者負担を上げないための食材費高騰化対策を令和6年度から子育て応援基金を活用して継続することとしている。国に先行しての無償化の考えは現状ない。



4番 森哲士 議員



## J AにおけるAコープ・生活店舗購買事業からの撤退について

①買い物弱者支援に向けた地域公共交通の見直し等の状況と今後の方針は。

### ◆まちづくり推進部長

デマンド小坂では、ルートを萩原地域のスパーやドラッグストア、コンビニ等まで延長する「買い物便」を令和6年10月から設定し、自宅近くで乗降し、最寄りのスパー等まで直行するドア・ツー・ドアに近い形での運行に移行する。

②JAからは、Aコープ閉店後の店舗を活用する事業者を探すことや移動販売事業者と連携することの説明があったが、他事業者への継承に向けた働き掛け等の状況は。

### ◆まちづくり推進部長

現在もJAひだは、事業継承者を模索し、努力を続けているとのことで、この事業継承の取り組みについては大詰めの段階であり、その結果は、市へも報告される予定である。

## 小坂町森林組合の解散について

①清算手続きについて、市が確認している状況と今後の見込みは。

### ◆農林部理事

金融機関からの長期、短期借入金返済は昨年うちに全て完了し、平成28年度に市が支援した補助金約273万円も昨年12月末に市に返還されている。

このまま順調に進めば、破産はせず、清算できる見込みであり、代表清算人は年内には全ての手続きを終えたいとの意向を示している。

②南ひだ森林組合が事業継承を見据えて昨年実施したアンケート調査の結果とその内容は。

### ◆農林部理事

対象の全組合員の45%から回答があり、そのうちの85%が「南ひだ森林組合に加入したい」との意向を示している。また、同組合による森林管理に期待を寄せている意見が多くあった。

③小坂地域における適正な森林管理を進めていく上での市としての対応方針は。

### ◆農林部理事

市では市内各地で森林環境譲与税を活用して森林経営管理制度に基づく意向調査と森林整備を進めており、令和6年度からは新規の意向調査の対象地を小坂地域でも設定し、森林整備を推進していく方針である。





13番 (日本共産党)  
中島 新吾 議員



**物価高などで大変な市民の暮らしと経営に強力な支援を**  
①今後も市民のくらしに温かい支援を

◆福祉部長

国による交付金事業として令和5年の家計急変世帯に対し、給付金を支給する予定である。

◆教育委員会事務局長

子育て応援基金を活用した給食費の食材費高騰化対策を実施していく。

②中小企業・小規模事業者の経営に力強い支援の具体化として、「中小企業・小規模企業振興基本条例」の制定を。

◆観光商工部長

市が一方的につくるのではなく、関係する皆さまと一緒に考えて取り組んでいきたいと考えている。

**市の防災力の強化がいま求められている**

①能登半島地震で市民の災害に対する不安と関心は大きい。市民の命を守るため実際に起こりうる状況に基づいた被害想定を。対処できる振興事務所の強化の方向は。

◆総務部長

被害想定も非常に大事であり、下呂市防災会議に令和6年度からは水道などの関係者も参加予定である。「職員災害時個別行動計画」により振興事務所に多くの職員を配置するよう計画している。

②住宅の耐震化、シエルターなどの具体的推進を。

◆建設部長

補助制度の仕組み等のPRや、関係事業者への周知など耐震化促進につながる取り組みを実施していく。

**子育て支援にもっともつとちからを入れて**

①小中学校やこども園給食費の無料化実現を。全国で無料化は広がっている。

◆教育委員会事務局長

食材費の高騰化対策を継続することを現状の対策として考えており、国に先行した無償化の考えはない。

◆福祉部長

国の政策の推移を見ながら検討していく。

②地元産の農産物の活用拡大、地域連携の強化で子育てを豊かにする方向を。

◆教育委員会事務局長

農林部と連携し、農家と価格や供給面などについて協議しながら、下呂市産の食材を取り入れていきたい。



6番  
尾里 集務 議員



**森林環境譲与税を活用した取り組みについて**

①森林経営管理制度に基づく意向調査の進捗状況と今後の方針は。

◆農林部理事

令和3年度は5地区約870ヘクタール、令和4年度は13地区約1500ヘクタールに着手してきた。今後は森林造成組合からの要望に加え、防災面も考慮して優先順位を付け、5力年の実施計画を定めて計画的に実施していく。

②森林の適正な維持管理のための今後の林業事業者増強対策は。

◆農林部理事

新規就業者の確保対策、既に林業に取り組んでいる事業者の体制強化対策、新たに林業に参入する事業者の確保対策について取り組んでいく。

③納税者へのPR効果の高い沿道伐採事業の今後の方針は。

◆農林部理事

森林環境税の徴税を見据え、市民へのPR効果も高い沿道伐採を、今後は年1箇所程度実施して

いく方針である。

**将来の小中学校のあり方について**  
①児童生徒の保護者等から、学校の現状に対する不満等、抱える思いを聞き出すためのアンケート調査などは実施されているのか。

◆教育長

小中学校では学校評価を行うに当たり、保護者からのアンケート調査を実施している。各学校で今年度の重点など独自で項目を決めており、現状への不満や保護者が抱える思いを自由に書き込むことができるよう作成している。

アンケートの中に、学校統合に係る意見は出ていないと各学校長から報告を受けている。

②市としての今後の取り組みの考えは。

◆教育長

下呂市小中学校適正規模検討委員会の報告を視野に入れ、令和6年度において、適正規模でない複式学級がある小学校とその校区の未就学者の保護者、複数学級のない中学校とその校区の小学校について、保護者の思いを把握することを考えている。中学校については、生徒の意見も聞く予定である。





12番 (日本共産党)  
吾郷孝枝議員



## 命を最優先に災害対策を

①阿寺断層帯北部で最大震度7が想定されている下呂市は、甚大な被害の恐れがある。命を最優先に、災害関連死を防ぐことが重要。

避難所となる学校体育館のエアコン整備は急務となっている。

## ◆教育委員会事務局長

令和6年度は南部の中学校から順次、特別教室の空調整備を予定している。なお、屋内運動場については、危機管理課で避難所としてスポットクーラーの整備を進めている。

②災害救助法による避難生活改善に基づき、温かい食事・プライバシー確保・弱者に配慮など、命と健康を守る備えを。

## ◆総務部長

発災直後は備蓄品などを活用し、時間が経つにつれて炊き出しや支援物資の提供などにより徐々に改善されていくと考える。簡易ベッドを寝心地の良いものに変更し、プライバシー確保として段ボール製間仕切り、パーテーションなどを備蓄している。

③2次避難などで被災者の分散・孤立化は災害関連死を招きやすい。仮設住宅建設は地域ごとに計画すべきではないか。

## ◆建設部長

仮設住宅の設置は、地震の規模や被害状況等により柔軟に対応する必要があり、能登半島地震の対応状況なども参考に、防災計画に盛り込んでいく必要があると考えている。

## 老後の安心につながる具体策を

①介護の人手不足が家族介護者への負担を増している。飛騨市は年間12万円を支給している。介護者慰労制度の導入を求める。

## ◆福祉部長

慰労金制度の代わりに介護支援券として要介護3以上の住民税非課税世帯には6万円分、所得割課税額10万円未満の世帯には5万円分を交付している。現行の介護支援券は介護する家族の経済的・精神的な慰労も目的にしている。

②社協とも協力して、人材配置の充実を図り、重層的支援体制を整え、下呂地域に包括支援センターの整備が必要ではないか。

## ◆福祉部長

電話連絡により日程調整を図り、都合のいい場所で職員が直接相談支援等の対応をしている。今後は、テレビ電話の活用も予定している。



10番  
伊藤厳悟議員



## 下呂市における道路ネットワークの整備促進について

①国道41号の改良・防災事業の現状は。

## ◆建設部長

屏風岩改良事業は、橋梁の橋台・橋脚全9基の内、2基が完成し、2基を施工中で令和6年5月に完成予定。門原防災事業は、令和5年春に1号トンネル工事が発注され、現在入口付近の山林の法面対策が行われており、完成にはまだ多くの日数がかかる予定である。

②緊急輸送道路でもある主要地方道宮萩原線および下呂小坂線は、災害時において重要な機能を果たす。市としての認識と課題は。

## ◆建設部長

両路線とも、国道41号の緊急輸送道路に指定され、通行止時の迂回路となるダブルネットワーク化として重要な路線と捉えている。

宮萩原線山之口地内において、通行規制により、時期によっては通り抜けができないこと、下呂小坂線は、数箇所ある狭い区間の解消が主な課題と捉えている。

③能登半島地震を踏まえた下呂市国土強靱化地域計画の見直し方針は。

## ◆総務部長

公共施設の老朽化対策や道路ネットワークの整備など12の項目について関係部局と協議し、令和7年度予算編成に向けて計画を見直していく予定である。

## 市立金山病院の現状と今後について

病院経営の現状を踏まえた今後の経営方針は。

## ◆金山病院事務局長

診療圏の人口推計を踏まえ、救急医療や小児医療の機能は維持することとし、関係医療機関と連携を図りながら、地域の医療を支えていく。病床機能は、現在の2病棟99床を維持する方向としている。

## 人口減少対策について

市としての人口減少に対する今後の具体的な対策は。

## ◆まちづくり推進部長

年少人口、生産年齢人口、高齢者人口をターゲットとした、「子育て支援」、「雇用の創出」、「高齢者福祉」の3つに注力していく。

## ◆地域振興部長

令和6年度から「Uターン促進運動」を市民の皆さまと一体となって展開していきたい。併せて「Uターンおかけり奨励金制度」を創設する。



2 番  
田口 琢 弥 議員



### 「無料もえるごみ処理券シール」について

①世帯人数で算定した枚数が配付されたが、その検証はされたのか。

#### ◆環境部長

令和5年度はこれまでのもえるごみ専用袋やペットボトル専用袋を引き続き使用されており、現時点での検証は困難と判断している。令和6年度からは、「もえるごみ処理券シール」のみの使用となるので、引き続きご意見を伺いながら、令和6年度の利用枚数について調査し、ごみの減量化につながるよう検証が必要と考えている。

②もえるごみ専用袋およびペットボトル専用袋と「有料もえるごみ処理券シール」との交換の状況は。

#### ◆環境部長

令和5年11月から令和6年3月29日まで、クリーンセンターや各振興事務所で交換を実施している。2月末時点で、もえるごみ専用袋とペットボトル専用袋を合わせておよそ1万6000枚交換している。

③残った「無料もえるごみ処理券シール」の取扱いはどうなるのか。

#### ◆環境部長

有効期限が令和6年3月31日までとなっており、令和6年4月からは使用できない。電子ポイント等での還元については、運用方法や財源の確保、高齢者への配慮といった課題もあり、関係部局と協議しながら慎重に検討したい。

**有事に備えてのライフライン等の確保対策について**

①水道管路の耐震化状況は。また、今後の耐震化計画は。

#### ◆上下水道部長

施工場所が確定しているところについては事前調査や関係機関との協議など、整備に向けた準備を進めている段階である。

②避難所等におけるトイレ対策は。災害用トイレの設置状況および今後の計画は。

#### ◆総務部長

現在は、固液分離型で1基5500回の使用が可能な仮設組み立てトイレを21基、ポータブルトイレを108基、これに使用する排泄収納袋1万4000袋を備蓄しており、最終的には4万3000袋備蓄予定である。また、能登半島地震を受けて、仮設組み立てトイレを令和6年度8基購入し増強予定である。

### 黒戸谷の改修工事について

工事のスケジュールは。

#### ◆建設部長

令和6年度に詳細設計を行い、令和7年度に用地測量調査、用地取得を行い、令和8年度には着手できるよう進めていきたいと考えている。

### 県道乗政下呂停車場線(乗政地内) 拡幅工事について

計画の進捗状況と今後のスケジュールは。

#### ◆建設部長

下呂土木事務所では、令和4年度に詳細設計、5年度に用地丈量測量、6年度以降に建物調査、用地の取得を行い、8年度に着手できるように計画されている。

なお、事業進捗には予算の確保が重要であり、要望活動を行っていく。

### 高齢者・買い物弱者・子ども等に対する総合交通対策について

①買い物弱者、高齢者の交通移動に対する考え方は。

#### ◆まちづくり推進部長

デマンドバスの運行形態を、



11 番  
一木 良 一 議員



より自宅近くで乗車して、最寄りのスーパーや医院等の目的地に直行する自由経路型に変更していく。令和6年4月1日からデマンド馬瀬で導入し、10月1日を目途に、デマンド小坂の萩原町上呂までのルート延長と、デマンド金山の増便と市街地循環ルートの新設を進める予定である。

②自治体ライドシェアの取り組みについての考え方は。

#### ◆まちづくり推進部長

今後さらなる運転手不足がタクシー等で懸念され、中山間地域の生活・観光地の移動手段としてライドシェアへの期待が高まっていると考え、国の動向などをしっかりと注視しながら検討していきたい。関係法整備が進んだ場合、市としてライドシェアの活用も含めて現状よりも効率的かつ効果的な手法による交通体系へと見直しを進めていく必要があると考えている。

③子どもの部活動移動に対してどう捉えているか。

#### ◆教育長

保護者や生徒の負担を最小限にした移動が大切と捉え、改善を図っている。令和5年度、中学校長会と共に課題を洗い出しながら移動方法を検討し、令和6年度においても、各部活動からの意見が校長会で集約し、校長会と連携しながら、さらに改善を図っていきたいと考えている。

## 議会基本条例の達成状況を検証しました

下呂市議会基本条例は、議会の果たすべき役割や責任を認識し、市民福祉の向上のため、議会一丸となって全力で取り組んでいくことを決意し、令和3年3月定例会において制定（令和3年4月1日施行）したものです。本条例の第26条では、「議会は、この条例の施行の状況について議会改革特別委員会において検証し、その検証結果に基づき、必要に応じて、この条例の見直しを行うものとする」と規定されています。

このため、議会改革特別委員会を中心に、令和5年度における条例の各条項の達成状況について検証作業に取り組み、この度、その検証結果と評価を取りまとめましたので、お知らせいたします。

### 【主な検証結果・評価】

《 評価の段階：A「達成」、B「一部達成」、C「未達成」、－「対象外」 》

条 文	取組状況・実績等 (～令和5年度)	評価・今後の対策等	評価
第5条 市民参加および市民との連携	○本会議、委員会の原則公開 ○本会議のケーブルテレビ放送、インターネット配信 ○常任委員会および予算・決算特別委員会における付託案件審査状況のインターネット配信 ○市民と議会との意見交換会および各種団体との懇談会の開催	議会活動の透明性を高めるため、すべての委員会の審査状況を容易に知ることができるよう検討が必要である。	B
		市民と議会との意見交換会は、効果的な開催方法、周知のあり方等、今後の課題を残している。	B
		市民参加を促進する議会を実現するための具体的な取り組みとして、公聴会および参考人制度、請願陳情者の意見陳述制度の積極的運用に向けた検討が必要である。	C
第9条 政策等形成過程の説明	○市の重要な政策等の形成過程における説明を求める場として、政策等説明会を試行開催	新年度予算審査のさらなる充実に向けて、執行部に予算概要の事前説明を求めていく必要がある。	B
第10条 一般質問	○市長等への反問権の付与	市政における論点争点を明確にするため、一問一答方式による一般質問の運用に向け検討が必要である。	B
第12条 委員会等の運営	○予算と決算を審査する委員会のあり方の検討	決算審査によって明確になった論点をその後の予算審査に効果的に活かす政策サイクルのあり方について検討が必要である。	B

\*議会基本条例は、制定して終わりではなく、その成果や課題を検証して、さらにレベルアップした条例へと改正していくことが、議会活動の質の向上にとってとても重要です。そのためにも、この検証の取り組みを継続していきます。

\*すべての条項に係る検証結果・評価は、下呂市ホームページに掲載していますのでご覧ください。



**下呂市議会だよりが  
スマホで読めます!!**

インターネット上で無料閲覧できる、  
ギフイーブックスで配信中です。

## 6月定例会会期日程(予定)

6月定例会の会期日程(予定)をお知らせします。  
なお、一般質問などの内容は新聞折込でお知らせします。

月 日	曜日	会 議 内 容	時 間
6月 5日	水	本会議(初日)	午前9時30分～
18日	火	本会議(一般質問)	
19日	水	本会議(一般質問)	
20日	木	常任委員会	
21日	金	常任委員会	
24日	月	予算特別委員会	
26日	水	本会議(最終日)	

※日程は変更になる 場合もあります。 場所：本会議(下呂庁舎3階 議場)  
委員会(下呂庁舎3-1会議室)

### インターネットライブ配信

本会議および常任委員会・予算特別委員会(付託案件審査)は、動画共有サービス(YouTube)にてライブ配信を行っています。

<https://www.youtube.com/channel/UCALIKRpFipq7Mtpr-rJGKQ/featured>

ライブ配信動画は、次回定例会までYoutubeから視聴できます。  
過去の配信動画は、下呂市ホームページにて視聴できます。

※「QRコード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です。

